



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経営戦略部担当(氏名) 吉谷 敏 (TEL) 03-5318-0639
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,948	30.5	3,312	84.9	3,569	88.1	2,606	67.5
29年3月期第1四半期	9,154	14.4	1,791	11.8	1,897	7.2	1,555	44.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,544百万円(317.7%) 29年3月期第1四半期 609百万円(△43.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	191.06	—
29年3月期第1四半期	114.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	67,427	52,320	77.6
29年3月期	65,978	51,549	78.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 52,320百万円 29年3月期 51,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当金の内訳 特別配当100円を含んでおります。

30年3月期の期末配当金の予想値につきましては、期初段階の数値を記載しております。

30年3月期の期末配当金につきましては、P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 利益配分に関する基本方針」に基づき、連結業績等を勘案したうえで、別途検討する予定です。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,400	13.3	5,200	17.5	5,400	17.1	3,500	1.9	256.56
通期	38,000	△6.7	9,100	△10.2	9,400	△9.3	6,300	△12.5	461.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	14,000,000株	29年3月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	357,983株	29年3月期	357,983株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	13,642,017株	29年3月期1Q	13,642,063株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、中国やその他の新興国経済の先行きに対する不確実性や金融資本市場の変動の影響といった下振れリスクを抱え推移しました。

アニメーション業界を取り巻く事業環境は、テレビの視聴率低下傾向やパッケージソフト市場の低迷等には依然として改善の兆しは見られないものの、劇場用アニメーションの活況の他、スマートデバイスの普及による国内外での配信やアプリゲームの市場拡大など、成長機会が見込まれる分野も数多くあります。

こうしたなか、当社グループでは「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品による収益の安定・拡大を図るとともに、事業においては中国を中心とした映像配信権の販売に加え、国内外でアプリゲーム等ゲーム化権の販売に引き続き注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、国内外で映像配信権やアプリゲーム化権の販売が好調に推移したことから、119億48百万円（前年同期比30.5%増）、利益については、収益性の高い海外映像販売事業や版權事業が大幅増収となったこと等から、営業利益は33億12百万円（同84.9%増）、経常利益は35億69百万円（同88.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億6百万円（同67.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアドリームスターズ！」を公開しました。前年同期にあった「デジモンアドベンチャーtri. 第2章」に相当するものがなかったことから、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「正解するカド」、「デジモンユニバース アプリモンスターズ」、「ワンピース」、「キラキラ☆プリキュアアラモード」、「ドラゴンボール超」、「タイガーマスクW」の6作品を放映しました。前年同期に比べ放映本数は増えたものの、ゲーム向け等音声製作が軟調に推移したことから、若干の減収となりました。

コンテンツ部門では、「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上があったことから、増収となりました。

海外映像部門では、前年第2四半期にあった複数作品の中国向け大口映像配信権に相当する売上が当第1四半期で計上になったことから、大幅な増収となりました。

その他部門では、映像配信権の販売が定額映像配信市場の拡大もあり、好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は42億36百万円（前年同期比44.8%増）、セグメント利益は9億11百万円（同82.7%増）となりました。

②版權事業

国内版權部門では、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』が前期に引き続き好調を維持したことから、大幅な増収となりました。

海外版權部門では、全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』に加え、北米向け家庭用ゲーム『ドラゴンボール ゼノバース2』の販売も好調に推移したことから、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は64億2百万円（前年同期比54.0%増）、セグメント利益は29億86百万円（同66.3%増）となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーンに相当するものがなく、大幅な減収となったことに加え、海外のイベント物販が軟調に推移したことから、大幅な減益となりました。

この結果、売上高は10億64百万円（前年同期比39.7%減）、セグメント利益は9百万円（同90.2%減）となりました。

④その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。前年同期にあった「聖闘士星矢」の催事関連に相当するものがなかったことに加え、「ワンピース」が前年同期に比べ軟調に推移したことから、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は2億96百万円（前年同期比22.3%減）、セグメント利益は14百万円（同48.1%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益確保を重要な経営目標の一つと考えており、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金につきましては、アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーになるべく製作プロダクションとして製作体制の充実を図るとともに、成長が期待されるビジネス機会に積極的に投資いたします。

配当につきましては、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,591,245	26,367,236
受取手形及び売掛金	7,804,571	8,415,088
商品及び製品	243,375	208,160
仕掛品	1,443,861	1,496,218
原材料及び貯蔵品	69,952	63,465
その他	3,772,382	3,587,012
貸倒引当金	△16,281	△17,755
流動資産合計	38,909,108	40,119,426
固定資産		
有形固定資産	7,062,714	7,337,901
無形固定資産	339,392	303,633
投資その他の資産		
投資有価証券	10,928,727	10,985,116
その他	8,875,158	8,824,686
貸倒引当金	△136,525	△143,373
投資その他の資産合計	19,667,360	19,666,429
固定資産合計	27,069,467	27,307,963
資産合計	65,978,575	67,427,390
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,530,020	9,064,680
未払法人税等	2,259,753	1,167,580
賞与引当金	282,638	140,899
その他	2,420,897	2,678,407
流動負債合計	12,493,309	13,051,568
固定負債		
役員退職慰労引当金	118,930	121,110
退職給付に係る負債	1,417,474	1,439,654
その他	399,716	494,706
固定負債合計	1,936,121	2,055,470
負債合計	14,429,430	15,107,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	44,042,513	44,875,452
自己株式	△543,829	△543,829
株主資本合計	49,775,833	50,608,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,613,814	1,772,142
繰延ヘッジ損益	△6,793	△5,236
為替換算調整勘定	166,289	△55,327
その他の包括利益累計額合計	1,773,311	1,711,578
純資産合計	51,549,144	52,320,351
負債純資産合計	65,978,575	67,427,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	9,154,137	11,948,448
売上原価	5,929,295	7,237,872
売上総利益	3,224,841	4,710,576
販売費及び一般管理費	1,433,709	1,398,450
営業利益	1,791,132	3,312,125
営業外収益		
受取利息	15,073	13,090
受取配当金	115,980	161,421
持分法による投資利益	33,029	11,219
為替差益	—	63,526
その他	25,193	10,830
営業外収益合計	189,277	260,087
営業外費用		
為替差損	81,856	—
その他	1,514	3,026
営業外費用合計	83,370	3,026
経常利益	1,897,038	3,569,187
特別利益		
投資有価証券売却益	260,606	—
特別利益合計	260,606	—
税金等調整前四半期純利益	2,157,644	3,569,187
法人税、住民税及び事業税	584,678	790,423
法人税等調整額	17,320	172,362
法人税等合計	601,998	962,786
四半期純利益	1,555,645	2,606,401
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,555,645	2,606,401

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,555,645	2,606,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△637,207	155,877
繰延ヘッジ損益	—	1,557
為替換算調整勘定	△276,166	△221,617
持分法適用会社に対する持分相当額	△33,068	2,450
その他の包括利益合計	△946,441	△61,732
四半期包括利益	609,204	2,544,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	609,204	2,544,668
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。